



大会会長あいさつをする阿部一彦会長

大会は、オープニング映像による世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとする豊かな自然、温泉等観光名所が紹介された後、日身連手嶋勇一副会長の開会宣言で開幕しました。

第1部は日本弁護士連合会「障害者の権利に関する条約。パラレルレポート作成プロジェクト」座長を務められた野村茂樹弁護士のご講演です。野村弁護士は、日本で初の視覚障害者の司法試験合格者として、1983年から弁護士として活躍中です。ご講演では「障害者差別解消法を考えると題して、2006年に国連総会で「障害者の権利に関する条約」が採択されて以来の「障害者差別解消法」等の歩みを振り返り

6月16日(金)、第68回日本身体障害者福祉大会わかやま大会がYouTubeによる録画配信にて開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため録画配信による大会開催は、3回目となります。

第68回日本身体障害者福祉大会

心のバリアフリーを地域社会に根づかせよう

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
ディアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

就任の ごあいさつ

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
会長 阿部 一彦

日頃より日身連の活動に対しまして、全国の会員並びに加盟団体の皆さまには、特段のご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。この度、日身連の会長に再任されました阿部一彦です。

今日、新型コロナウイルス感染症や自然災害等、私たちの日常において想定外のことが起こりうる世の中ですが、どのような中であっても社会情勢の動きを捉え、障害を理由に不利益を被ることがないように、しっかりと注視し取り組んで参りたいと思っております。

また、障害者が孤独・孤立に陥らないよう国等への働きかけとともに、障害理解への関心が地域社会に根づくよう取組に努めて参ります。加えて、ICTの活用を積極的に取り入れる等、加盟団体へのサポート等を含め、円滑な団体運営に努めて参ります。そして、「私たちのことを私たち抜きに決めないで (nothing about us without us)」の精神をもち、地域共生社会の実現に向けて、加盟団体の皆さまとともに歩んで参りたいと思う次第です。

日身連は、創設以来、日本の障害者団体の代表的な存在として、障害福祉の向上と障害者の社会参加の促進に向け鋭意努力して参りました。その日身連の活動をさらに推し進め、日身連と加盟団体の発展のため、新執行部体制のもとで、日身連会長の責務が果たせるよう鋭意努力して参る所存です。

今後とも、特段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ながら、「合理的配慮の不提供」についてなど、実践的でわかりやすいお話をいただきました。

第2部では式典と議事を行い、西井幸男大会実行委員長(和歌山県身体障害者連盟会長)の開会あいさつに続き、長年地域において障害者福祉の向上に尽力された52名の方が永年功労表彰を受けられ、お写真とお名前が紹介されました。来賓のご挨拶では、加藤勝信厚生労働大臣より激励のビデオメッセージを頂戴しました。

議事では、令和4年度事業報告(日身連河内修二副会長)、令和5年度事業計画(日身連森正義副会長)、大会宣言(和歌山県身体障害者連盟泉中條子副会長)、大会決議(和歌山県身体障害者連盟福田美枝子副会長)をそれぞれ行いました。最後に、次期開催地である石川県身体障害者団体連合会田中弘幸会長が次回大会への抱負を語られ、日身連加賀時男副会長が閉会の言葉を述べて終了しました。